

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。

今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。

冬がやってきました。電気ストーブや湯たんぽや、あったかグッズに癒される今日この頃です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今月も「芸術の秋」のご紹介です。

大阪中之島美術館の建物の前で、思わず立ち止まってしまう猫ちゃんのオブジェ「Ship's Cat (MUSE)」。大人気の Ship's Cat をたくさん展示するイベントが北加賀屋 MASK にて開催されました。

MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) とは・・・大型アート作品は、広い制作場所や、会期終了後の保管場所の確保が難しく、作品の解体や廃棄を余儀なくされるといった、アーティストが直面する課題に一石を投じるため、始まったプロジェクトで、約 1,000m²の元鋼材加工工場・倉庫を活用し、2014 年に開館。現在では 7 名のアーティストの大型作品を無償で保管し、収蔵作品の一般公開「Open Storage」を毎年行っているそうです。

Ship's Cat の生みの親であるヤノベケンジ氏も MASK の創設に関わっておられるとのこと。たくさんの Ship's Cat に会えるのをたのしみに、大阪市内とはいえ、これまで一度も降りたことが無い駅「北加賀屋」へ、行ってまいりました。

グーグルマップとにらめっこしながら歩いていると、一眼レフカメラを持った人たちに遭遇しました。遠くの屋根に Ship's Cat の姿がみえてきて、本気の人もスマホの人も、カメラを構えて撮影タイム開始です。かわいい～！！遠くから見てもかわいいし、近づくとますますかわいいです！

倉庫の前には物販の行列ができていましたが、まずは倉庫の中へ入りました。

シップス・キャット=船乗り猫とは、船乗りたちが長い航海に出る間に船上で飼われる猫を指し、「航海の守り神」「災厄から乗組員を守る存在」として世界中の海の文化に登場するそうです。そこから着想を得た作品の Ship's Cat には、宇宙を航海する未来の希望を予兆し、安全や出会いを助ける守り神となって、混迷する世界においても、人々や若者の旅を導いて欲しいという願いが込められているそうです。

大小さまざまな Ship's Cat は、どれも愛くるしくとってもかわいいのですが、ポーズは違ってもだいたい同じ顔をしています。

大量生産的な無機質さは、戦後以降の発展を遂げてきた現代社会の象徴のように思う反面、均一的な顔立ちにもかかわらず、なぜか個性豊かに感じられ、多くの人々が惹き付けられていることがとても印象的でした。

先述の中之島美術館をはじめ、高松・博多・鎌倉の WeBase というホステルにも Ship's Cat がいるそうです。もし機会があればぜひ会いにいきたいものです。

あっという間に今年もおわりがみえてきました。

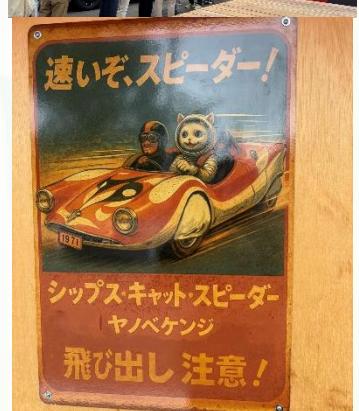
年末に向けて、ますますお忙しいことかと存じますが、どうぞ健やかにお過ごしくださいませ。



見えた～！！



猫耳を持つ太陽の塔型宇宙船《LUCA号》



街でみつけた看板もかわいい

今月も最後までお読みいただき

ありがとうございました。

来月もよろしくお願ひいたします。